

# 最近の景況について

## 1 県内景気の動向（平成22年2月5日公表）

○景況天気図 前月（小雨） 今月（小雨）



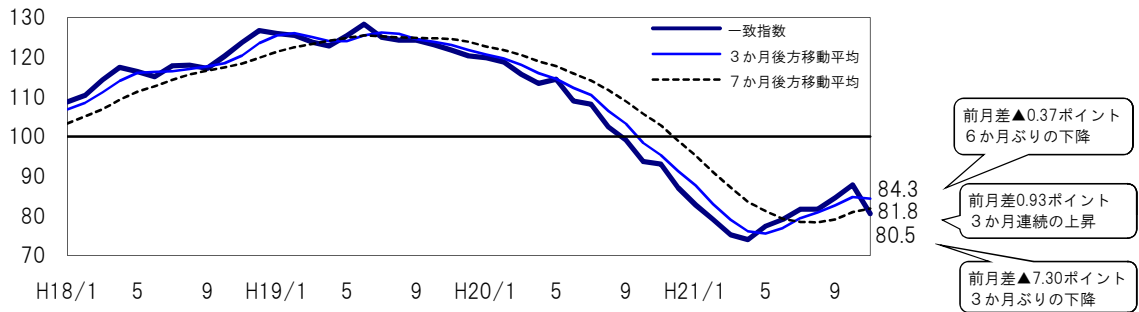
### 概況

乗用車新車登録台数は、5か月連続で前年水準を上回っている。  
 一方、大型小売店販売額は16か月連続、新設住宅着工戸数は11か月連続で、それぞれ前年水準を下回っている。また、公共工事請負金額は、3か月ぶりに前年水準を下回った。  
 鉱工業生産指数の原指数は、21か月連続で前年水準を下回っており、季節調整済指数は、3か月ぶりに前月水準を下回った。  
 また、有効求人倍率は、2か月ぶりに上昇したものの、依然として低い水準となっている。

このように、県内景気は、下げ止まりの動きもみられるものの、厳しい状況にある。

## 2 平成21年11月分の景気動向指数（C I一致指数）（平成22年2月5日公表）

○指数の推移（平成17年=100）

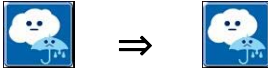


### ○基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、「上方への局面変化」を示している。  
 （基調は、月々の値をならした、3か月後方移動平均や7か月後方移動平均を中心に判断している。今月は基調判断の基準に該当するものがないため、前月の「上方への局面変化」を踏襲する。）

### （参考）国内景気の動向（内閣府「月例経済報告」：平成22年1月20日公表）

○景況天気図 前月（小雨） 今月（小雨）



※天気図は本県で判断したものです。

### ○我が国経済の基調判断

景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

- ・ 輸出は、アジア向けを中心に、増加している。生産は、持ち直している。
- ・ 企業収益は、大幅な減少が続いているが、そのテンポは緩やかになっている。設備投資は、下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられる。
- ・ 企業の業況判断は、依然として厳しい状況にあるものの、全体として持ち直しの動きが続いている。ただし、中小企業では先行きに慎重な見方となっている。
- ・ 雇用情勢は、依然として厳しい。
- ・ 個人消費は、持ち直しの動きが続いている。
- ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、当面、厳しい雇用情勢が続くとみられるものの、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。一方、雇用情勢の一層の悪化や海外景気の下振れ懸念、デフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。

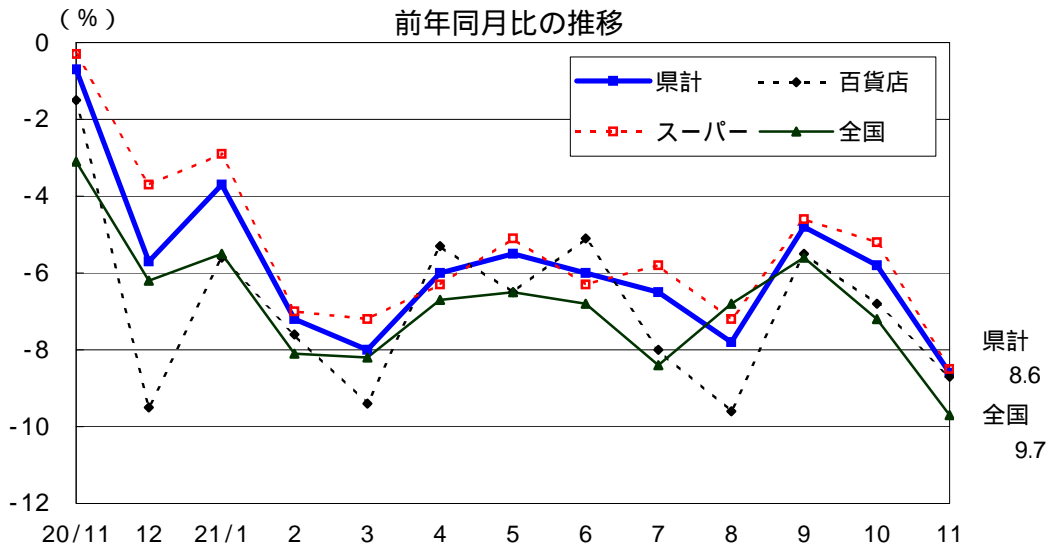
### 3 主要経済指標の動向

#### (1) 個人消費

##### 大型小売店販売額

11月の大型小売店販売額は、前年同月比8.6%減となり、16か月連続で前年水準を下回った。

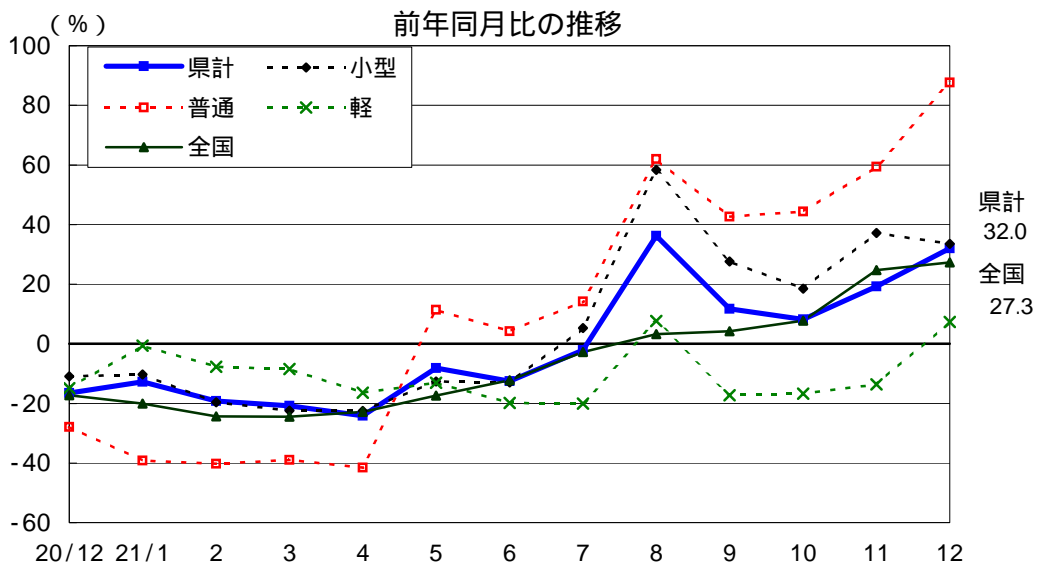
- ・業態別では、百貨店が8.7%減、スーパーが8.5%減となった。
- ・商品別では、衣料品、身の回り品等の全ての商品が、それぞれ前年水準を下回った。



##### 乗用車新車登録台数

12月の乗用車新車登録台数は、前年同月比32.0%増となり、5か月連続で前年水準を上回った。

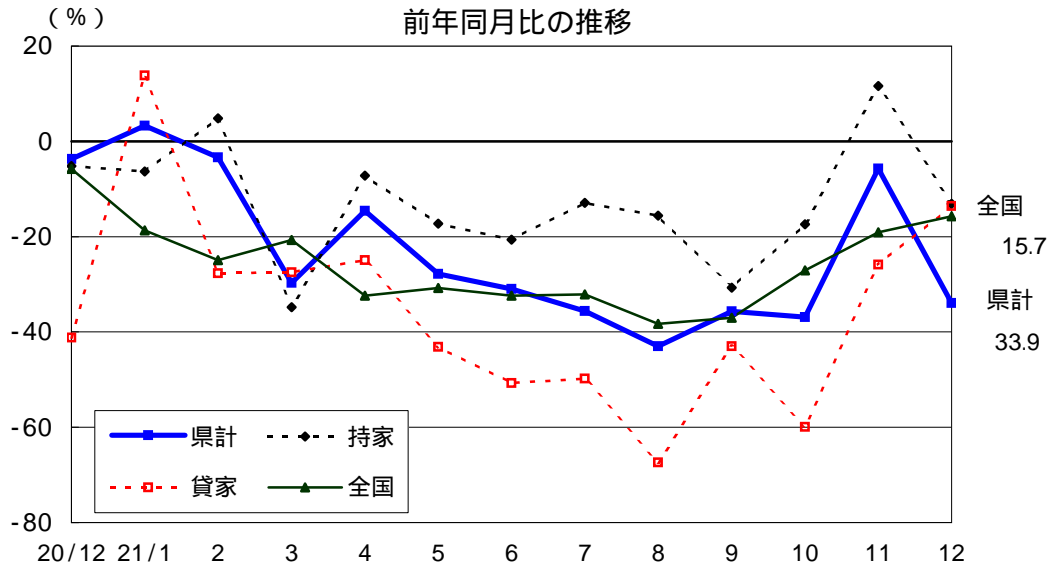
- ・車種別では、普通乗用車が8か月連続、小型乗用車が6か月連続、軽乗用車が4か月ぶりに、それぞれ前年水準を上回った。



(2) 建設投資

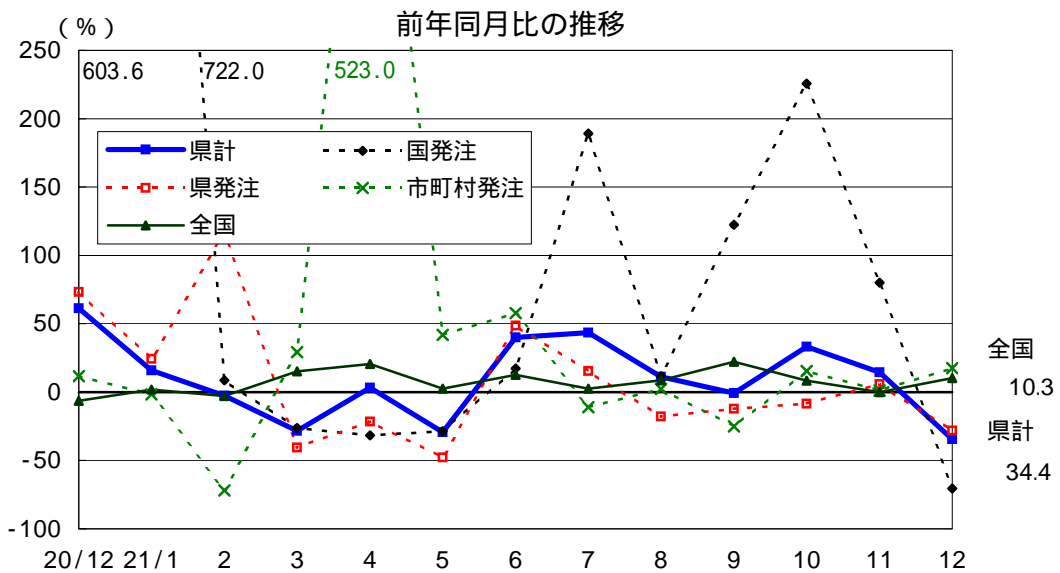
新設住宅着工戸数

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比33.9%減となり、11か月連続で前年水準を下回った。  
 ・利用関係別では、持家、貸家が、それぞれ前年水準を下回った。



公共工事請負金額

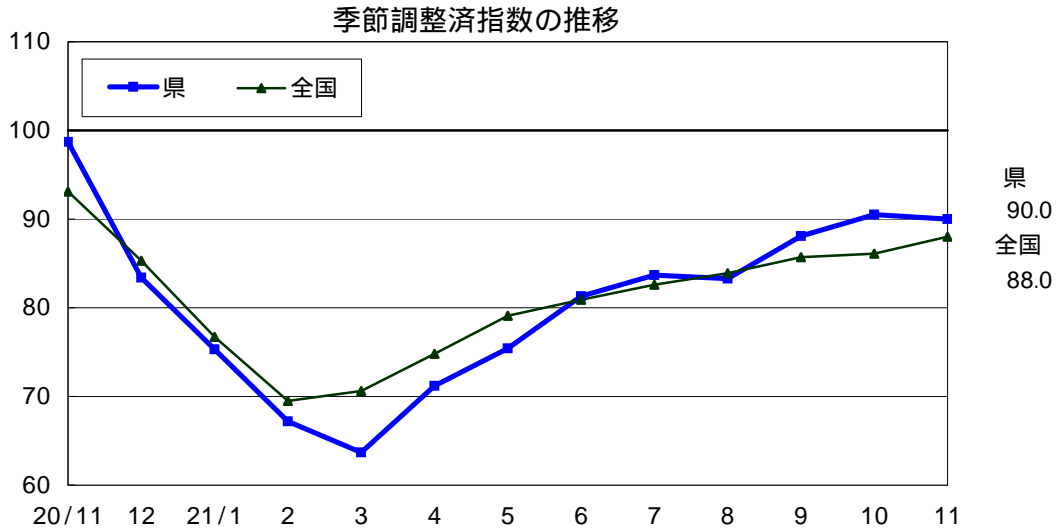
12月の公共工事請負金額は、前年同月比34.4%減となり、3か月ぶりに前年水準を下回った。



### (3) 生産活動

#### 鉱工業生産指数

11月の鉱工業生産指数（速報値）は、季節調整済指数が90.0（前月比0.6%減）となり、3か月ぶりに前月水準を下回った。なお、原指数は91.2（前年同月比7.6%減）と、21か月連続で前年水準を下回った。



### (4) 雇用情勢

#### 有効求人倍率

12月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月より0.01ポイント上昇し、0.35倍となった。なお、原数値の前年同月比は、0.11ポイント下降し、0.38倍となった。

